



20信経第1089号
平成20年10月29日

国土交通省道路局長 殿

信州新町長 中 村



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付で依頼のありました標記の件について、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

- ① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案について
- ② 地域の現状と抱える課題について

長野県 信州新町

当町の地形は山間急傾斜地であり、集落が山間部に点在しています。また、高齢化や過疎化が進む典型的な農山村地域であり、災害や急病人等が出たときには、道路の果たす役割は非常に重要な問題です。

こうした現状を踏まえ、当町における道路は「地域をつなぐ道路は命をつなぐ道路」そのものであり、依然として道路整備に対する住民要望は大きなものがあります。しかし、当町の地形や財政規模、及び国の補助枠等と思うように道路整備が進んでいないのが現状です。

地域住民が安全・安心して生活するための道路整備が必要不可欠であり、地方道路交付金事業など補助事業においては、財政規模の小さい町村には補助枠、補助率等で充分な枠の確保及び補助率の増など地域の実情に即した内容で、今後も継続的にお願いするものです。

また、自主財源の乏しい当町においては、生コンクリート等の原材料を地域に支給し、住民自らが打設・敷き均し・コテがけなどを行い、道路整備を進める「みちこせ」や道路法面の草刈り、支障木の伐採など自発的に取り組んでおり、「この道路は私たちのもの」という住民意識が育まれています。

しかし過疎化、高齢化等でこれまでのような住民参加型の道路維持作業にも支障をきたしております。草刈作業や側溝清掃等、住民ボランティアだけでは出来なくなり、どうしても業者委託に頼らざるを得なくなっております。今後は、こうした維持管理作業にも補助制度の導入等を検討していただければと思います。